

JA 0505323
DEC 1988

4m

(54) STEREOSCOPIC DISPLAY DEVICE

(11) 63-305323 (A) (43) 13.12.1988 (19) JP

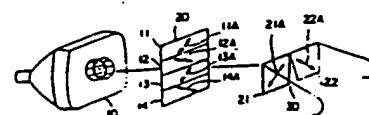
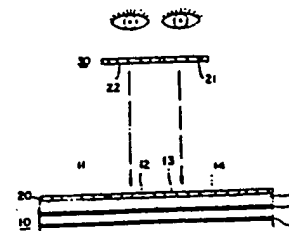
(21) Appl. No. 63-141522 (22) 8.6.1987

(71) JECQ CO LTD (72) MASAHIRO NAKAGAWA(2)

(51) Int. Cl. G02F1/13, G02D27/26

PURPOSE: To obtain a stereoscopic image of high quality without generating a flickering phenomenon by separating the polarizing direction of information alternately displayed on a display device by shifting its position by a polarizing plate array and allowing polarizing glasses to recognize the separated polarizing directions as a stereoscopic image.

CONSTITUTION: Left eye information and right eye information are displayed on the display face of a CRT so as to be alternately shifted right and left and in each scanning line. At the time of transmitting these display beams through the polarizing plate array 20, left eye information is transmitted through the polarizing plates 11, 13 of the array 20 and their polarizing axes or light absorbing axes 11A, 13A coincide with the polarizing axis or a light absorbing axis 21A of the left polarizing plate and can be recognized by the left eye. Right information is transmitted through polarizing plates 12, 14 on the array 20 and its polarizing axes or light absorbing axes 12A, 14A are made to coincide with the polarizing axis or light absorbing axis 22A of the right polarizing plate of the glasses 30 and can be recognized by the right eye. Consequently, a stereoscopic image generating no flickering phenomenon can be recognized.



⑬ Int. Cl.

G 02 F 1/13
G 02 B 27/26

識別記号

庁内整理番号

A-7610-2H
8106-2H

⑭ 公開 昭和63年(1988)12月13日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全3頁)

⑮ 発明の名称 立体ディスプレイ装置

⑯ 特 願 昭62-141522

⑰ 出 願 昭62(1987)6月8日

⑱ 発 明 者 中 川 匡 弘 新潟県長岡市下柳2丁目5番5号 コーポ裕202号
⑱ 発 明 者 伊 藤 栄 二 埼玉県行田市富士見町1丁目4番地1 ジェコー株式会社
⑱ 発 明 者 波 多 野 祐 一 埼玉県行田市富士見町1丁目4番地1 ジェコー株式会社
⑲ 出 願 人 ジェコー株式会社 埼玉県行田市富士見町1丁目4番地1
⑳ 代 理 人 弁理士 山川 政樹 外2名

明 細 書

1. 発明の名称

立体ディスプレイ装置

2. 特許請求の範囲

情報を位置をずらせて交互に表示する表示装置と、この表示装置の前方に配置された偏光軸または光吸収軸が交互に異なる複数の偏光板を配列してなる偏光板アレイと、この偏光板アレイの外側に配置された一対の偏光板を有する偏光メガネとを備えたことを特徴とする立体ディスプレイ装置。

3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明は立体画像の表示を行なう立体ディスプレイ装置に関するものである。

(従来の技術)

従来、この種の立体ディスプレイ装置としては、CRT (Cathode-Ray-Tube) 上に左目用と右目用との画像を交互に切り替えて表示し、これに同期したシャッターメガネを用いて立体可視化するVHD方式が実用化されている。

(発明が解決しようとする問題点)

しかしながら、このように構成される立体ディスプレイ装置は、装置全体の構成が大きくなり、携帯性に欠けるとともに画像のスイッチングに伴うフリッカ現象による目の疲労が生じ易いという問題があつた。

したがって本発明は、前述した従来の問題に鑑みてなされたものであり、その目的は、フリッカ現象を発生させることなく、高品質の立体画像が得られる立体ディスプレイ装置を提供することにある。本発明の他の目的は、携帯性の優れた立体ディスプレイ装置を提供することにある。

(問題点を解決するための手段)

本発明による立体ディスプレイ装置は、情報を位置をずらせて交互に表示する表示装置と、この表示装置の前方に配置された偏光軸または光吸収軸が交互に異なる複数の偏光板を配列してなる偏光板アレイと、この偏光板アレイの外側に配置された一対の偏光板を有する偏光メガネとを有して構成される。

メガネ。

特許出願人 ジェコー株式会社

代理人 山川 政樹(ほか2名)

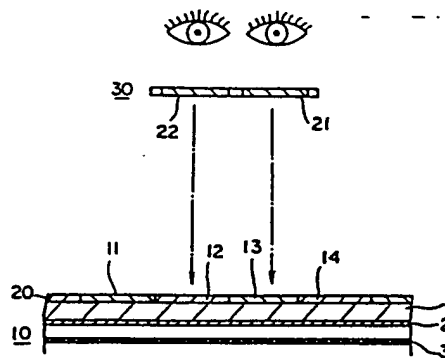
帯性に優れている。さらに偏光板アレイの各偏光板により情報をそれぞれ分離し、偏光メガネにより左右の目に個別の情報が得られるように構成したので、表示装置上に偏光板アレイを配設するのみの簡単な構成で立体画像が得られるなどの極めて優れた効果を有する。

4. 図面の簡単な説明

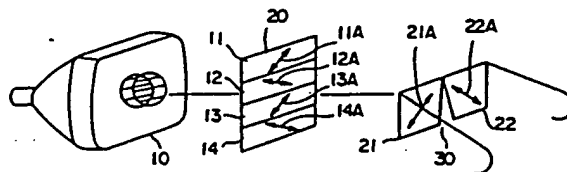
第1図は本発明の一実施例による立体ディスプレイ装置を示す要部断面図、第2図は第1図に示す偏光板アレイおよび偏光メガネの偏光軸または光収軸を説明する斜視図、第3図(a)、(b)、(c)は本発明による立体ディスプレイ装置の動作を説明する図である。

1・・・パネルガラス、2・・・養光体膜、3・・・シヤドウマスク、10・・・陰極線管、11,12,13,14・・・偏光板、11A,12A,13A,14A・・・偏光軸または光収軸、20・・・偏光板アレイ、21・・・左偏光板、22・・・右偏光板、21A,22A・・・偏光軸または光収軸、30・・・偏光

第1図



第2図



第3図

